

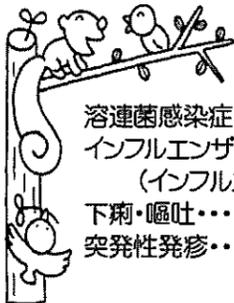
ほけんだより 3月

2020年3月号 あおぞら保育園

寒さが和らぎ、温かく感じる日が増えたと同時に花粉の飛散が始まり、花粉症には辛い季節がやってきました。

4月からは、つき組さんはいよいよ小学生ですね。残りの保育園での生活を存分に楽しんでほしいと思います。他のクラスのお子さんも進級にドキドキ・ワクワクと胸を膨らませていることでしょう。この1年で体が大きくなっただけでなく、誰かを思いやる心や困っている人がいたら助ける心も大きく成長したと思います。自信を持って新しい環境でも頑張ってください。

1年間、保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。



2月の感染症 (2/28 現在)

- 溶連菌感染症・・・9名
- インフルエンザ A・・・4名
(インフルエンザ A 型を2回罹患する場合があります)
- 下痢・嘔吐・・・8名
- 突発性発疹・・・1名

3月の保健行事

2日～6日 身体測定
9日(月) 0歳児健診
14:30～

花粉症のお子さんが例年増加傾向です。眼の充血やかゆみ、くしゃみが止まらない、透明な鼻水などの症状が続く場合は花粉症の可能性がります。一度、耳鼻科を受診しましょう。保育園は点眼薬を含め、薬のお預かりはできませんので登園前の点眼やマスクの装着・内服薬など花粉対策をお願いします。

もうすぐ1年生 進学の準備はできていますか?

- 早寝・早起き できていますか?
- 好き嫌いをなく 食べられますか?
- トイレは上手に 使えていますか?
- 通学の道は 知っていますか?
- 元気にあいさつ できていますか?

新型コロナウイルス

連日の「新型コロナウイルス」のニュースが心配ですね。ご家庭でもマスクの着用、手洗い、うがいをしっかりと行い、保育園に登園の際は、アルコール手指消毒をしてお入りください。あわせて別紙で配布しました「新型コロナウイルス感染症の予防と保育所において新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について」(2月18日厚生労働省)と「新型コロナウイルスに対する対応について」(2月26日羽村市役所)をご一読いただき、保護者の皆様には、感染拡大防止や健康管理等の趣旨についてご理解いただきますようお願いいたします。



◆新年度から、書類の一部が変更になります。

①厚生労働省「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づいて「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を食物アレルギーのお子さんだけに活用していましたが、新年度からは、新たに4疾患(気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎)も対象となります。保育園で特別な管理が必要なお子さんに限って、保護者の依頼を受けて医師が記入するものです。必要なご家庭は、看護師までご相談ください。また、置き薬をしているご家庭は3月中に一旦返却いたします。再受診をしていただき必要に応じて「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」のご提出をお願いします。

②抗痙攣薬を置き薬をしている方へ

新年度より、痙攣止めの薬をお預かりする場合は、医師による指示書が必要になります。指定の用紙がありますので詳しくは看護師までご相談ください。

①、②の書類の提出期限は3月末までにお願いします。

◆食物アレルギーのお子さんは、継続の書類が必要です。再受診をしていただき3月末までに提出をお願いします。継続書類は順次、個別に配布しております。食事除去内容の確認を行うために面談を実施します。



歯みがき指導



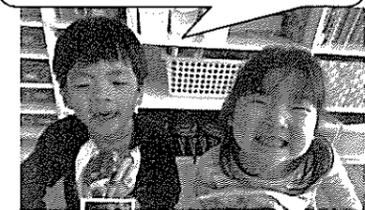
★ことり組★ 2/27

ブラークチェッカーを使用し、磨き残しがあると、ピンク色に染まります。ドキドキしながら鏡で見ると「キャー」と声が上がりました。白い歯になるように必死に磨いている子どもたち。歯垢が目に見えると効果的です!

★はな組★ 2/21

朝食後に歯みがきしていますか? 歯みがきをしていないと答えたお子さんは、各クラス4・5人いました。乳歯が生え変わる大事な時期ですので朝食後も歯みがきをしてから登園しましょう。夜は、大人が仕上げ磨きをして虫歯のない健康的な歯を目指しましょう。

★はな組★ 2/21
歯がピンクに染まりました。これからみがきま〜す



子どもの歯は、20本あります。何本あるかな? 一生懸命数えています。



染め出し中…。いちごの味がするね。



★つき組★ 2/25

虫歯になりやすい食べ物となりにくい食べ物をしっかり理解していました。さすがつき組さんです。



乾燥する季節です。唾液をたくさん出すマッサージをして、のどの乾燥を防ぎます。



子どもに多い耳の病気

急性中耳炎

中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿がたまる病気です。カゼをひいたときに、鼻やのどの炎症が続いて起こることが多いです。

- 症状は?
- ズキズキとする激しい耳の痛み
 - 発熱
 - 耳だれ
 - 耳が詰まった感じ など

注意点は?

途中で治療をやめると、滲出性中耳炎などに移行すること。最後まできちんと治療するのが大事です。

どんな病気?

鼓膜の奥の中耳腔という腔に、液体が溜まる病気で、

- 症状は?
- 聞こえにくくなること多いです。ただし、程度だと気づくのが遅れることも。
 - テレビのボリュームを上げたがる
 - 呼びかけても返事をしない
 - などが見られたら注意が必要です。強い痛みや発熱はあまり見られません。

注意点は?

治療が不十分だったり、放置すると入院や手術が必要になることも。長期にわたるケースも多いですが、極力早く治療を受けてください。



鏡を見ながらブラッシング。歯間に食べカスが詰まりやすいので小刻みに手を動かし、1カ所に付き10回は磨きましょう。



歯ブラシを上手に持ってブラッシングしています。



乾燥している季節は「RSウイルス」「肺炎」「クレーブ症候群」等の咳の風邪が流行ります。咳をしているお子さんは、マスクの着用をお願いします。また、下痢・嘔吐のお子さんも増え始めました。保育園で発生した下痢・嘔吐は感染力が非常に強く感染拡大しやすいため、最終の下痢・嘔吐から24時間は経過を見て頂き、いつもと様子が違うときは、職員にお知らせください。

- 室内の換気をこまめにする。
- 咳がひどいときは、背中の下に枕やクッションを置き、上半身を高くすると呼吸が楽になります。
- 麦茶や白湯など刺激の少ない飲み物で、のどを乾燥させないように水分補給をこまめに行いましょう。